

## 1 公園の再整備・改良

令和5年度は、岡津宮ノ谷公園のシンボルとなっている複合遊具を22年ぶりに更新したほか、区内6公園で施設改良を行いました。

岡津清治ケ谷公園では、ダスト舗装からインターロッキング舗装に改良することで草刈り頻度の軽減を図りました。

また、開園後33年が経過している西が岡二丁目第二公園では、園路の改修などの再整備を行いました。

【令和5年度に実施した公園】  
 岡津宮ノ谷公園、岡津清治ケ谷公園  
 中田町第五公園、泉中央公園  
 中田町鯉久保公園、しらゆり公園  
 西が岡二丁目第二公園



平成14年設置



岡津宮ノ谷公園

令和5年設置



岡津清治ケ谷公園

### 担当のこだわり！

再整備工事では、土舗装だった園路を透水性高炉スラグ舗装へ更新しました。

元の自然な雰囲気を残しつつ、透水性・保水性があり、熱くなりにくい舗装にすることで、雨が多く暑さの厳しい夏でも快適に公園利用できるようにしました。



西が岡二丁目第二公園(再整備後)



令和6年度は、弥生台南公園ほか6公園で施設改良を行います。

今年度は遊具改修や植栽管理に加え、トイレの洋式化やダスト舗装の更新にあわせた貯留浸透機能の向上にも取り組みます。

【令和6年度に実施予定の公園】  
 弥生台南公園、新橋天神の森公園  
 中田町丸の内公園、中田町葛野公園  
 上飯田けやき公園、下和泉ふれあい公園  
 西が岡二丁目公園



ダスト舗装の更新にあわせて貯留浸透機能も向上



更新する和式トイレ

## 2 区内公園初のAED設置

区内の公園では初めてAEDを緑園六丁目自治会が緑園須郷台公園に設置しました。

### 公園利用者のコメント

誰でも利用できる公園にAEDが設置されたことで、これまで以上に安心して公園を利用することができるようになりました。



## 3 公園へのシェアサイクルポート設置

横浜市では、地域住民等の多様な移動ニーズに対応し公共交通の機能補完として、日常生活の移動手段の確保と移動の選択肢を増やすことを目的に令和4年6月から広域シェアサイクル事業社会実験を行っており、新たに区内2公園でシェアサイクルポートが設置されました。写真撮影時に駐輪されている自転車は1台も無く、早速地域の方に活用されています。

令和6年2月にシェアサイクルポートが設置された2公園

- ・中田町宮ノ前公園 4台
- ・和泉町作右衛門公園 6台



中田町宮ノ前公園  
(公園内から撮影)

## 4 公園愛護会PR

公園愛護会等の新たな担い手確保と発掘を目的に、地域情報紙に「ボランティア募集」の記事を掲載したところ、活動に興味がある市民から複数の問合せを受けました。また、地域情報紙掲載をきっかけとして、フジテレビの報道番組イット!の番組内で、「美化活動のボランティア同士をつなげる『公園コーディネーター』」として泉土木事務所職員が紹介されました。

「公園を愛する気持ち育てたい」元ボランティアから“公園コーディネーター”になった市職員の奮闘！

【FNN プライムオンライン】

<https://www.fnn.jp/articles/-/712379>



取材の様子

## 5 公園愛護会、水辺愛護会、ハマロード・サポーターの交流

泉土木事務所では、公園愛護会、水辺愛護会、ハマロード・サポーターの相互交流を深め今後の活動に役立てていただくべく、令和元年度より視察会を開催しています。令和5年度は9月29日(金)に参加者95名と職員11名で横須賀市にある「長井海の手公園 ソレイユの丘」の視察を行いました。当日は指定管理者から施設管理のお話を伺うこともでき、みなさんに大変好評でした。



## 6 雨水排水施設の整備

令和3年10月に上飯田町で発生した陥没事故を契機に対策検討を進め、令和5年度に工事発注を行いました。

令和6年10月の完成に向け、4月から本格的な工事に着手しています。現場は交通量の多い道路に面しており、歩行者の安全確保に留意しつつ、土木事務所が一丸となって早期完成に取り組んでいます。

～ 設計者 兼 監督員からひと言 ～

開きよと暗きよが混在している水路に下水道管を整備するため様々な工種があり設計・積算が難しかったです。

工事実施に伴う地域への影響を最小限にするため、請負業者さんと連絡調整を密に行っています。

引続き、安全第一で工事監督を行い、安全安心のまちづくりを進めてきます。

### 工事概要

- 塩ビ管布設工  
φ250mm 87.0 m
- 塩ビ管布設工  
φ600mm 65.7 m
- 強プラ管布設工  
φ1100mm 9.7 m
- 特殊人孔改造工 一式



令和3年10月\_陥没箇所



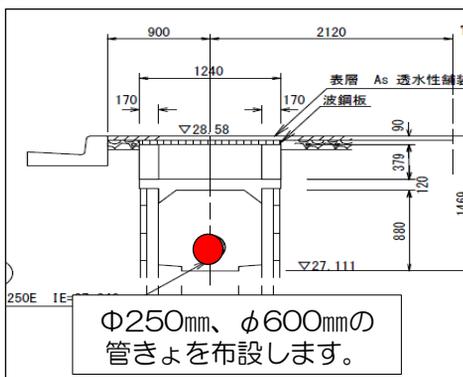
歩道下は波形鋼板

歩道下の状況

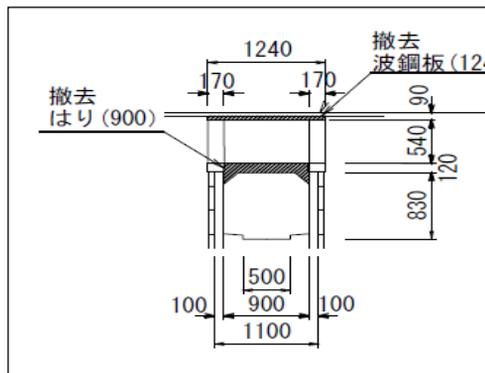
安全な歩道に生まれかわるんだね！



泉区マスコットキャラクター  
いっずん



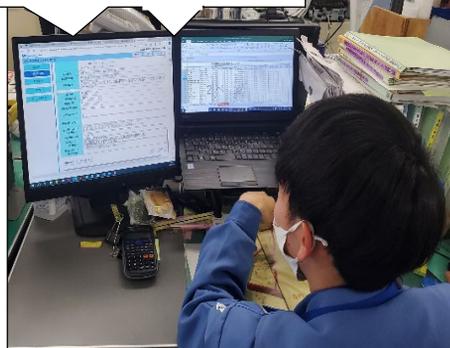
φ250mm、φ600mmの管きよを布設します。



## 7 下水道DXの取組

泉土木事務所は、排水設備計画確認申請における電子申請モデル土木事務所となっています。令和5年10月の電子申請開始以降約1/4が電子による申請となっており、申請者の利便性向上と効率化につながっています。

申請システムと  
入力台帳の整合を確認



紙で申請される方には  
電子申請を案内しています



窓口での周知

～ 担当者からひと言 ～

関連規則改正やシステム改修などに取り組み、更なる利便性の向上と効率化を目指していきます！

## 8 営農者も利活用する水路の維持管理

泉土木事務所では営農者も利活用する水路の維持管理を行っています。

本格的な営農期の前に水利組合の要望を受けて水路の清掃や修繕も行いました。



水路清掃前



水路清掃後



水路修繕

## 9 「公園のまちヨコハマ」・「子育てに優しいまち泉区」

平成26年度より進められてきた土地区画整理事業地内に新たに5か所の公園が整備されました。これらの公園は、令和7年度頃に泉土木事務所に引き渡される予定です。

5か所の公園には、大型商業施設（ゆめが丘ソラトス）とあわせて、“まちの顔”となることが期待されています。



大型商業施設  
(引用：ゆめが丘ソラトスHP)



暫定公開中の公園  
(土地区画整理組合管理)

## 10 土木事務所の広報活動

広報よこはま(泉区版)にみどり税を活用した樹林管理を3月号に、地域防災拠点から水再生センターまでの地震対策を4月号に掲載しました。

**特集1 花と緑あふれる泉の暮らし**

緑豊かな散歩道  
～鍋屋の森～

令和6年3月号

**特集2 もっと知ってほしい! 下水道のこと** ～地震対策～

地震発生後も安全に衛生的なトイレが使用できるように、横浜市では災害用ハマッコトイレ(下水道結式版トイレ)の整備や下水道管、水再生センターの耐震化を進めています。

災害用ハマッコトイレは、令和6年度の上原田中学校で、区内22カ所全ての地域防災拠点への整備が完了します。また、地域防災拠点の訓練を地域の皆さんとともに実施するなど、地震に備えた対策を行っています。

**地域防災拠点** 地震により自宅で生活できない人が、一定期間避難する場所

**災害用ハマッコトイレとは?** 災害時に断水や停電などで、水洗トイレが使用できなくなってしまう場合に、通常下水道管へ汚れた水を流すことができる仮設トイレ。学校のプール水などを活用し、災害時にもトイレが使えるよう各地域防災拠点に整備しています。

**POINT** 災害時は地域防災拠点の運営委員会の皆さんが災害用ハマッコトイレの組立・設置を行います。日頃から訓練を行い、円滑な避難生活を営めるよう準備を進めています。

汚れた水を分解し、きれいにして川や海に放流しています。

ポンプ施設 水処理施設 消電施設

令和6年4月号

**水再生センター**

本誌に関するお問合せ先

横浜市 泉区 泉土木事務所 Tel 045-800-2532